社会資本総合整備計画　　防災・安全交付金

令和06年01月31日

計画の名称	戸田市の安全・安心な都市づくり（防災・安全）													
計画の期間	令和０５年度　～　令和０９年度　(5年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	戸田市													
計画の目標	本地区（新曽第一・新曽第二地区）は市の中心部であり、地区中央の南北に埼京線が通ることにより、都心への利便性が向上した結果、宅地化が進んだが一部に無秩序な建設等が散見されることとなった。 そのため市民が安全・安心を実感できるよう、戸田駅・北戸田駅を中心とした都市基盤の整備及び周辺道路の整備を実施していく。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	6,679	A	6,679	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R05	R07	R09
1	安全・安心な駅周辺の整備を・安全・安心な駅周辺の整備を進めることにより、駅利用者を増加させる[74,400人（R5）から75,200人(R9）へ増加]			
	JR埼京線戸田駅、北戸田駅の乗降客の増加 一日平均乗降客数を集計する	74400人	74800人	75200人
2	通学路及び自転車通行帯の整備を進めていくことで、事故数を減少させる[15.7件（R5）から12.9件(R9）へ減少]			
	人口１万人当たりの人身事故件数の減少 年間人身事故件数を集計する	15件／万人	13件／万人	12件／万人

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000777811

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R05	R06	R07	R08	R09	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	戸田市	直接	戸田市	区画	改築	新曽第一地区（（都）旭町沖内線　外）	区画整理　A=91.2ha	戸田市	■	■	■	■	■	726		―
	A01-002	街路	一般	戸田市	直接	戸田市	区画	改築	新曽第二地区（（都）旭町沖内線　外）	区画整理　A=40.5ha	戸田市	■	■	■	■	■	542		―
											小計						1,268		
市街地整備事業	A13-003	市街地	一般	戸田市	直接	戸田市	―	―	新曽第一地区（区画街路　外）	区画整理　A=91.2ha	戸田市	■	■	■	■	■	3,888		―
	A13-004	市街地	一般	戸田市	直接	戸田市	―	―	新曽第二地区（区画街路　外）	区画整理　A=40.5ha	戸田市		■	■	■	■	1,523		―
											小計						5,411		
											合計						6,679		

案件番号： 0000777811

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	R05	R06	R07		
配分額（a）	98	308	407		
計画別流用増△減額（b）	0	0	0		
交付額（c=a+b）	98	308	407		
前年度からの繰越額（d）	0	0	0		
支払済額（e）	81	284	342		
翌年度繰越額（f）	17	24	65		
うち未契約繰越額(g)	8	0	0		
不用額（h = c+d-e-f）	0	0	0		
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d))%	8.16	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					